

2021年度 新3年生対象 SKIP 算数教室の紹介 算数・プログラミング (SCRATCH) + 将棋

講師・代表 山口栄一

玉川大学名誉教授。エジンバラ大学客員研究員（1995-6）。教育の技術・方法（授業のデザインと算数教育）を中心として、40年にわたり教育学部、教職大学院で小学校の教員養成に従事。その間、リクルート映像での企業内教育プログラムの監修、YAMAHA サイエンス教室などの企画に携わった。また、全国学習塾元理事として、集団指導、個人指導検定プログラムを作成した。算数教育に関しては、小学館 21世紀プログラム（通称ドラゼミ）の算数テキスト、問題集の監修と執筆を担当した。また、児童用の教材として『おりがみ算数図形パズル』、『切り紙算数図形パズル』（ディスカヴァートウェンティワン）を作成し、AERA キッズ、KIDS ファミリーなどに紹介された。コンピュータ教育に関しては、『21世紀コンピュータ教育事典』（旬報社）の監修・執筆、プログラミングのテキストとして『JAVA10Lessons』、『Flash 20 Lessons』などを執筆。退職後に SKIP 算数教育研究会を主宰し、現在に至る。

SKIP 算数教室の紹介

本会の目的は、3年生を対象に、中学入試算数を視野に入れて、算数活動を中心に、プログラミング（Scratch を使用）、将棋などの知的活動を通して、子どもたちに学ぶ楽しさを味わっておほしい、ということにあります。入会にあたっては、かけ算九九を習得していることが必須です。

個別のペースを重視しますので、前期（3月～7月）では、算数では、かけ算、わり算を使った図形基礎（角度と平面図形）、個別学習として算数ラボ、プログラミング、将棋などの領域の基礎を学び、後期（9月～1月）では、円を含む図形発展、立体図形、比の基礎、文章題に取り組みます。

本会は、「子どもたちはもともと学ぶこと、考えることが好きなのだ」という教育哲学と、「能力は一つではなく、多様である」、「私たちは自分なりの理解を求めている」、「自己肯定感の基礎には自己効力感がなければならない」という認知心理学の理論から、そのひとつである論理・数学的な能力をした活動を通して、自己効力感を高めていきたいと考えています。そのためには、何かに到達することよりは、学びのエンジンを活性化することを重視しています。

算数活動では、3年生でも取り組めるように作成したオリジナル教材や市販の教材、各種の算数パズルなどを通して、よい問題にじっくり取り組み、折り紙やパソコンなどを使ってイメージを作り、自分なりの理解を深めることを大切にしています。個別の対応が必要なので、5名を限度とします。結果的に、全国の統一テストでも高い順位に達している子どもたちも少なからずおられますし、プログラミングでも、かなり高いレベルまで扱えるようになります。子どもたちがこの会での主体的な学習活動を通して、高学年での中学入試の基礎を作るだけでなく、その後の学習活動の基礎を作っていくことを願っています。

教室

場所：森上教育研究所研修室

対象：小学3年生 水曜日クラス・木曜日クラス各5名

期間：2021年3月から2022年1月まで（8月はありません）

時間：水曜日、木曜日いずれもオープン4時（スタート4時30分）、7時に終了。

授業料：月4回 15000円（別途に、ドリルや算数ラボは、各自にご購入いただきます。）

パソコンの用意はありますが、ご用意いただくのは歓迎です。タブレットは使えません。

連絡先：山口栄一 skip.yamaguchi@gmail.com

申し込み（随時）

申し込みの前に、ご興味のある方は、教材資料をお送りしますので、その旨をお知らせください。

申し込みは、 skip.yamaguchi@gmail.com へ、メールでお願いします。

希望の曜日（水曜か木曜クラス）、お子様の氏名、性別、学校名、住所と連絡先（メールアドレス）をお知らせください。1クラス5名を上限といたします。テストはいたしません。九九のかけ算ができることが条件です。

- 授業のスタートは、3月の第一水曜、木曜日です。
- コロナの関係で事情が不安定です。そのため、授業料は最終日（あるいは翌月初回）にお願いします。
- 授業を休んだ場合には、「4000円×出席回数」をご持参ください。
- 算数ラボなど、また、お子様にあわせて、別途にご購入いただく教材があります。初回には、『算数ラボ考える力のトレーニング9級』、『算数ラボ図形空間認識のトレーニング9級』（いずれも新学社、各800円税別）をご用意ください。

以上